

長崎の林業

小曾根星堂書



長崎県山地防災ヘルパー協会島原支部研修会（島原市）

8

目次

● 林政だより	やる木のあるみんなの味方！ ～林業関係金融制度の概要について～	2～3
● 特集記事	一期一会の木々から生み出す優しい木彫作品 長崎市 kohada works コハダワークス 小川路治子さん	4～5
● 林業普及だより	県北地区の特用林産物の振興について	6
● 地方だより・島原	長崎県山地防災ヘルパー協会島原支部研修会を開催	7
● 地方だより・五島	林道南部憩坂線開通（五島市）	8
● 林業団体情報	高齢者の労働災害防止に向けて	9
● センターだより	ヤブツバキの花はどのくらい結実するの？	10
● 紹介コーナー	趣味の竹細工 平松良信さん	11
● 長崎の山と森	いさはや九電みらいの森（諫早市）	12

「長崎の林業」は、
ながさき森林環境
税により発行して
います。



2022
No.803

木づかい推進で地球温暖化を防止しよう！

ながさき森林環境税の取組についてはこちら→



森林ボランティアに興味のある方はこちら→



FREE

ご自由にお持ち下さい。

「長崎の林業」はこちらからもご覧いただけます→



林政だより

やる木のあるみんなの味方！ ～林業関係金融制度の概要について

林業を経営する皆様へ

「林業に関係する補助事業がたくさんあるけど、補助対象外で困ったな・・・」。そんなとき、資金面での問題を解決するための林業専用の制度資金があります。今回は、そんな林業・木材産業者が使える制度資金についてご紹介いたします。

長崎県が取り扱う制度資金

県では、大きく2つの制度資金を取り扱っています。どちらもたいへん低利で有利な資金ですので、ぜひご利用ください。

①長崎県林業・木材産業改善資金

<貸付対象者>

林業・木材産業改善措置に関する計画を好事から認定された者

<利率> 無利子

<貸付限度額>

個人：1,500万円、会社：3,000万円、

団体：5,000万円

<償還期間> 最長10年（一部特例あり）

<貸付対象資金>

- ・施設の改良、造成または取得に必要な資金
- ・造林に必要な資金
- ・立木の取得に必要な資金
- ・経営規模の拡大、生産方式の合理化、その他必用な資金で農林水産大臣が指定するもの

<貸付対象例>

○新しく林業を始めるのに必要な資金

（例：チェーンソー、しいたけ栽培施設・コンテナ苗生産施設など）

○生産性や品質を向上させるための資金

（例：高性能林業機械、ドローン、バイオマス施設、林内作業車など）

○販売方法を効率化させるためのシステム導入資金

（例：販売管理システムの構築、原木の供給体

制にかかる立木、JAS規格認定取得、森林認証の取得など）

○新たな林業部門のための施設導入資金

（例：プレカット加工施設、木材チップ製造施設、割りばし製造機械など）

○安全性、職場環境、福利厚生施設の改善・質向上に必要な資金

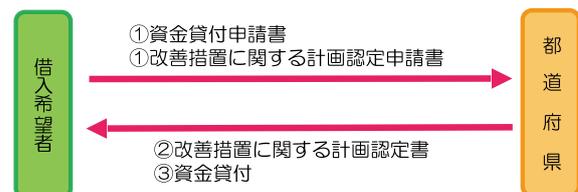
（例：防振装置付きチェーンソー、自走式刈払い機、作業現場での休憩施設、シャワー、トイレ、休憩室など）



<借入手続>

1. 貸付資格の認定書類と貸付申請書類を提出します。
2. 資格認定、貸付決定後に借用書を提出します。
3. 貸付額に相当する担保の提供、または連帯保証人を設定します。
4. 貸付が実行されます。
5. 施設整備などが完成したのち、実績報告書を提出します。

<借入手続>



※申請書類などの提出先はお住まいの地域の振興局林務課へお問い合わせください。

②木材産業等高度化推進資金

<貸付対象者>

林業経営改善計画又は合理化計画を知事から認定された者

<利率>年0.6%~1.6% (令和4年度時点)

<貸付限度額> 5,000万円~3億円

<償還期間>短期:1年、長期:5年

<貸付対象例>

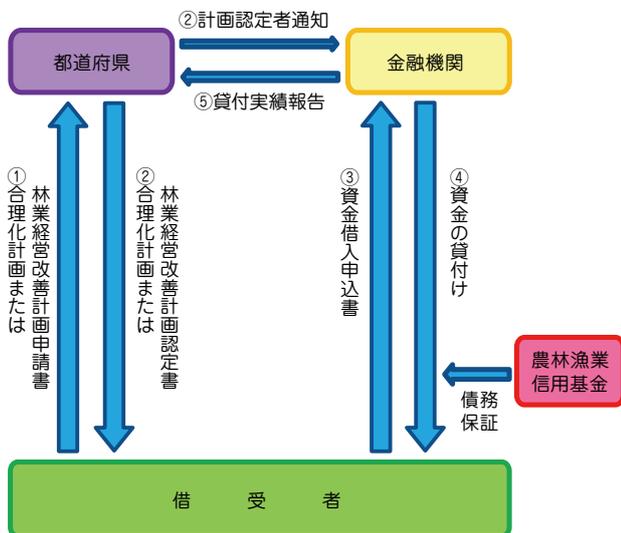
- ・造林に必要な資金(作業労賃、苗木代など)
- ・素材生産に必要な資金(立木購入代金、作業道の開設・改良費用、作業委託費用など)
- ・素材などの引取りに必要な資金(購入代金、輸送費など)
- ・木材の加工に必要な資金(作業労賃、光熱費など)

<借入手続>

十八親和銀行と農林中央金庫を通して借りることになります。

それ以外の金融機関を希望の場合は、お住まいの地域の振興局林務課にご相談ください。

また、農林漁業信用基金の信用保証制度を活用することで利率を下げるができます。



「独立行政法人農林漁業信用基金による信用保証制度」について

この制度は、林業に携わる人が必要な資金を借りる場合に、その借入れに係る債務を保証して、これらの資金の融通を円滑にすることを目的としています。

これにより「木材産業等高度化推進資金」を借りる際にこの保証を受けると、利率を0.4%低く設定することができます。

金融機関からの融資や、県の制度資金を利用される際は、こちらの利用もご検討ください。



<保証内容>

○一般資金を借りる場合

保証料率: 年0.2%~1.8%

保証割合上限: 80%

(一部は一定額まで100%保証)

保証期間: 運転資金: 3年(特認7年)

設備資金: 15年

○木材産業等高度化推進資金を借りる場合

保証料率: 年0.10%~1.35%

保証割合上限: 100%

保証期間: 短期1年 長期5年

(運転資金のみ)

金融ご利用は計画的に

借入には、事前に計画をつくり県が認定する必要があるものがほとんどであり、融資までには一定期間を要しますので、借入をご検討の際には、早めの相談をお願いします。

最後に、長崎県の林業の発展のためにも安心して経営できるような制度となっていますので、利用のご検討の際はお気軽にお問い合わせください。

<問い合わせ先>

県の林政課普及指導班

Tel:095-895-2990

(普及指導班)



【特集記事】

一期一会の木々から生み出す 優しい木彫作品

コハダ ワークス おがわじ はるこ
長崎市 kohada works 小川路 治子さん

4年前、新潟県から長崎市に移住された「kohada works」木彫作家の小川路治子さん。滋賀県長浜市のご出身で軽快な関西弁を話す、明朗快活という言葉がぴったりの素敵な作家さんです。SNSで1000人を超すフォロワーに支持される人気ぶりは全国から寄せられる注文数にも表れており、1点1点彫刻刀で彫られた小さな作品は現在も発注から数か月待ち。人気の秘密は何と言っても繊細かつ滑らかで丁寧な彫りと女性ならではの優しく柔らかなフォルムです。

もくちょう 木彫との出会い

元々細かい作業が好きで、パッチワークやビーズなど、当時住んでいた京都で趣味を楽しむ日々でした。そんなある日、偶然目に留まったのがとある木彫教室。中学生の頃、美術の授業で木のオルゴールを作った以来、木材に触れた経験などなかった小川路さんでしたが、「木彫」という聞き慣れない文字に興味を惹かれ、すぐに教室に通い始めたそうです。30名程の生徒さんが通う教室では、立体的な彫刻刀彫りの基礎やデザインなどを学び、美しい工芸家具を制作。

木と向き合い静かに彫り進める時間が楽しく、気づけば10年余りコツコツと数々の木作品を手がけてこられたそうです。



(左) 図柄のデザインを手がけた初めての作品
(右) 憧れの葡萄を彫ったマガジンラック

制作活動の転機

10年間順調に技術を磨いていた矢先、新潟へ移る事が決まります。先生の元を離れ、一人で仕入れから道具の管理まで、経験のなかった小川路さんには難しいものでした。

その時、手を差し伸べてくれたのが友人達。SNSへの投稿やイベント出品など新しい試みを手助け、kohada worksの作品は少しずつ広まっていきました。京都時代に作り貯めた作品を全部買い取りたいとの依頼が突然舞い込んだ時には、驚きを隠せなかつ

たそう。また、その方の紹介を受け、仕事道具である糸鋸を提供してくれた「^{もくこうぼう}奎工房」さんは、後に師匠と呼ぶ存在となります。制作環境も落ち着き、ようやく一人で木々と向き合った時、自分が本当に作りたいものは何か悩み模索する日々が続きました。

自分の好きなものを表現したい

小川路さんの木彫制作の材はカツラです。

以前は北海道の日高産材などを使用していました。新潟ではもっと身近に手に入れることが出来るようになり、以前に比べると作品の幅も広がりました。大好きな北欧デザインを取り入れた「鳥のモチーフ」が生まれたのもちょうどこの頃。今ではkohada worksの代名詞ともいえる存在です。



(左)ブローチ (右)コーヒーフィルタホルダー

自分が作りたいものを木で表現したいとの思いを胸に、華やかで美しい工芸家具の技術を生かした「手のひらに収まる小さくも温かい作品」の制作が始まりました。顧客もフォロワー数も格段に増加し、kohada worksのファンは全国に広がりました。

ひらめきから生まれた新作

自分らしい作品を見つけ制作を続ける中で、時には好みではない「白太」の材が混ざることがありました。カツラは中心部が赤身、外側は白太と全く色合いが違います。赤身を好んで使用していた小川路さん。届いた当初は使わず3年程放置したままでしたが、ある時ふと白太の特徴を生かして「真っ白な雲」を作ってはどうかと閃きます。すると今までにはない絶妙な色合いにより作品にメリハリが生まれ、瞬く間に人気商品となりました。シロクマや気球、草花など白太は今ではなくてはならない材です。



(左) 雲は白太、鳥は赤身で制作したオーナメント
(中) 20種類程の彫刻刀を使う制作作業
(右) 一枚板の色目に沿って計算された動物たち

自分のお気に入り作品に

木に携わって早20年の小川路さん。ここまで続けてこられたのは応援してくれる沢山の方々との出会いがあったからと話します。長崎の地でも同じくご縁に恵まれ、現在は緑に囲まれた静かな貸工房で制作を続けています。希望の厚さに製材してくれる木工家さんとの出会いもあり、安定した活動が出来ているそうです。



(左) 貸工房にて 糸鋸での作業
(右) 仕事道具の彫刻刀

不思議なことに教室に通っていた頃に比べ、今は一層木を大切に想う気持ちが強くなったそう。当時は木工品を見て心が躍ることも自ら進んで購入することもありましたが、今では木に対する愛着は自分でも驚く程。手元に届いた材はすぐに重量を確認します。重量が軽いものは目が詰まっておらず、切り口がざらついて美しく仕上がりません。届いた材を見る瞬間が一番ワクワクする瞬間で、それぞれの表情を見ながら作品のイメージを膨らませます。理想は地元の材を気軽に手に入れられること。同じカツラでも全て違う表情を持つ木々の豊かな美しさを、作品を通し気軽に、そして身近に感じて頂けたらと話されました。

(NPO法人地域循環研究所)

林業普及だより

県北地区の特用林産物の振興について



菌床しいたけ生産状況

特用林産物とは

しいたけ等のきのこ類、クリ等の樹実類、山菜類、うるしや木ろう等の伝統的工芸品原材料、竹・桐材、木炭などの森林原野を起源とする生産物を総じて、特用林産物と呼びます。

これらは、農山村における地域資源を活用した産業の一つとして、地域経済の安定と就労場の確保に大きな役割を果たしています。

県北地区の特用林産物について

県北地区では、「菌床しいたけ」、「菌床きくらげ」、「つばき油」、「しきみ」、「さかき」が生産されており、地域産業を支える重要な役割を担っています。

特に「菌床しいたけ」は、令和3年次の管内実績として953.7tが生産され、県内生産量の1/3を占めています。

また、菌床しいたけ・きくらげ生産を営んでいる有限会社きのこ屋は、優良な経営が認められ、令和3年度ながさき農林業大賞の「長崎県知事賞」を受賞されています。

「菌床しいたけ」の生産は、平成24年に全国的に販売価格が大幅下落したことから経営に大きな影響を受けており、そこから徐々に回復傾向にあるものの産地間競争の激化、近年の燃料・資材価格の高騰を受け、厳しい経営が続いている状況です。

県北振興局では、生産コストを縮減し、今後も安定した経営を行うため、補助事業を活用した生産施設の整備や省エネルギー対策機器の導入等、生産体制の整備についての支援を行っ

ています。

原産地表示について

近年、海外から輸入された菌床により育ったしいたけを国内で収穫し、国産として出荷する例があり、海外で生産された菌床由来のしいたけと、国内で生産された菌床由来のしいたけを消費者が区別することができない状況となっていました。

そこで、消費者に、より正確な情報を提供するため、令和4年3月より、消費者庁の食品表示基準Q&Aが改正され、「原木（ほだ木）又は菌床培地に種菌を植え付けた場所（植菌地）を原産地とする。」ことが示され、植菌地が原産地として表示されることとなりました。（図1）



図1：原産地表示について林野庁HPより

原木しいたけ又は菌床しいたけを購入する時は、商品の原産地表示をご確認いただき、ぜひ長崎県産の商品の購入をご検討ください。

（県北振興局 林業課）

地方だより

長崎県山地防災ヘルパー協会島原支部研修会を開催



除草作業状況

6月17日(金)島原市南千本木町内の垂木台地に於いて、約40人が参加する山地防災ヘルパー協会島原支部の研修会が開催されました。

本県の山地防災ヘルパー制度は、山地防災に対する的確で早急な対応を推進し、地域に密着した山地災害の情報収集能力の強化などを目的に、1997年に創設されました。

ヘルパーは会員制で治山事業の経験者等を知事が認定します。主な活動は、山地災害や治山施設の被害状況の把握、山地災害を受けた箇所での2次災害の防止のための監視などを行っています。

島原支部ではヘルパー活動に役立つ、講義及び実習の研修会を、年1回行っています。

今年も新型コロナウイルスの影響で、研修会の開催が危ぶまれましたが、マスク着用や体温計測、アルコール消毒、室内の換気などの感染対策のうえ、実施することができました。

研修会では、はじめにヘルパー制度、島原

管内の治山事業や保安林制度、実習で使用する草刈り機の取扱い方について、島原振興局林務課が講義を行いました。

講義後の実習では、小場島原支部長こばしまばらしぶちやうの号令のもと垂木台地の除草作業を参加者全員で行いました。霧で視界が悪い中、安全を心がけて作業を行い、短時間で見事綺麗になりました。

本研修は、CPDS※継続学習プログラムとして認定されており、受講者へ受講証明書を授与し、研修会を終了しました。

今回の研修会は、日頃の活動に活かすことはもちろん、防災ヘルパー同士の交流や意見交換の場としても、良い機会となりました。

(島原振興局 林務課)

CPDS※とは、個人IDの加入者が講習会などで学習した場合に、その学習の記録を登録し、必要な場合に学習履歴の証明書を発行するシステム。



講義状況

地方だより

林道南部憩坂線開通（五島市）



りんどうなんぶいこいざかせん

林道南部憩坂線について

林道南部憩坂線は、五島市が平成13年度から開設していた南部寺脇線を延伸して憩坂を終点とする計画変更を行うとともに、県が平成22年度から五島市に代わり県営林道として工事を進めてきました。

五島市岐宿町の県道福江荒川線を起点とし県道富江岐宿線を終点とする延長12.3km、幅員4.0m、総事業費1,728百万円（五島市整備分を含む）、利用区域600ha（天然林を含む）の林道南部憩坂線が令和4年5月に開通しました。

林道南部憩坂線の効果について

高性能林業機械に対応した効率的な林業経営を目指すための重要な基幹路線であり、利用区域内にある約360haの人工林の積極的な利用が期待されています。

また、防火帯の役目も果たしており、間伐が進むことにより災害に強い森林の造成、七ツ岳から父ヶ岳等での森林レクリエーション活動

のアクセス道としても活用が期待されています。

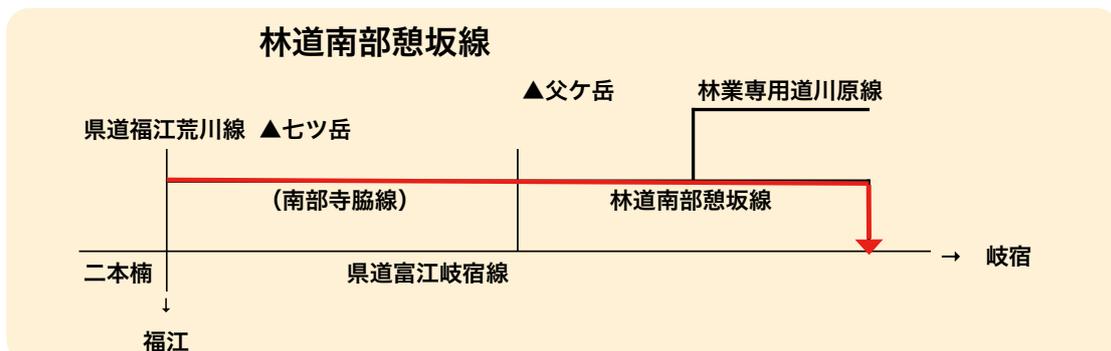
さらに、林道南部憩坂線を起点とし市道に接続する林業専用道川原線りんぎょうせんようどうかわはらせんの開設工事も行われています。

五島市では、令和3年度に約80haの搬出間伐が実施され、さらなる推進を目指しているところです。林道の開通により、森林整備や作業の効率化等が期待されています。



林道における木材搬出状況

（五島振興局 森林土木班）



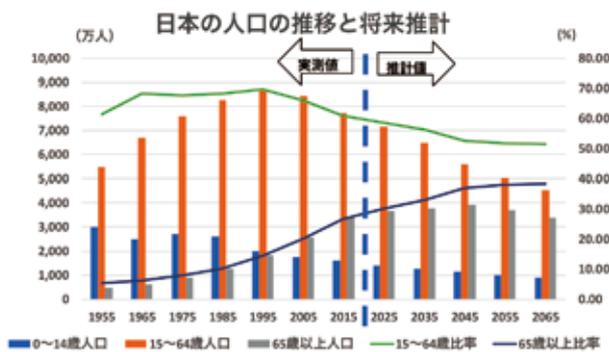
林業団体情報

高齢者の労働災害防止に向けて

超高齢化社会の到来

人生100年時代、高齢者もいきいきと働く社会が求められています。

少子化に伴い、若年労働者が減少し高齢者が増大する傾向にあります。現在65歳以上の人口は3割近くを占め、2065年（令和47年）には4割近くまで増加が見込まれています。超高齢化社会の到来です。



高齢化に伴う労働災害の増加

内閣府の35歳から64歳対象の調査によれば、60歳を過ぎても働きたいと思う人は80%を超えているようです。

しかし、高齢化が進むとともに心身機能が低下し、労働災害も増加しています。

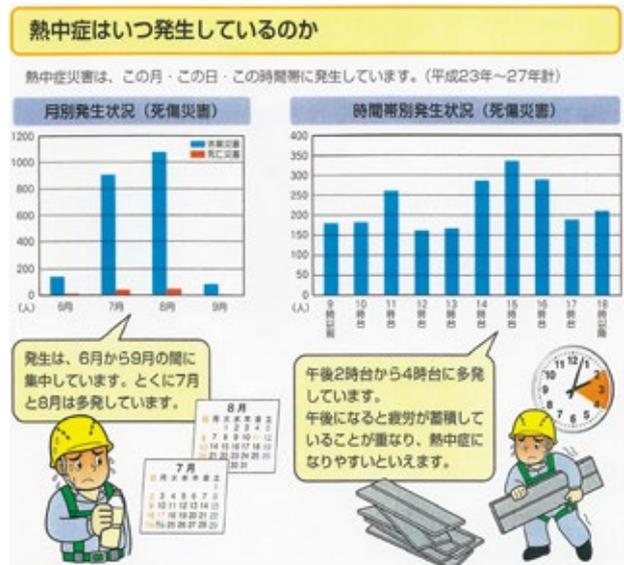
低下する機能の主なものは、①バランス感覚（脚立や足場板での作業でふらつく）、②とっさの動き、③筋力、④柔軟性、⑤視力、⑥聴力、⑦疲労回復力、⑧記憶力となっています。その結果、墜落や転倒災害が多発しています。

厚生労働省は、エイジフレンドリーガイドライン（高齢労働者の健康と安全に関するガイドライン）を策定し、高齢者が安心して安全に働ける職場環境づくりや健康づくりを進めています。高齢者の特性に応じた職場の安全対策が求められています。

長崎県森林土木建設業協会においても、研修や安全冊子の配布などを通じて、会員の労働災害防止に努めています。

熱中症対策

建設業は労働災害の多い産業となっていますが、季節的にはちょうど熱中症の危険が一番高い時期に来ています。高齢者は特に「のどの渇きを訴えない」、「補給する水分の量が少ない」という傾向があり、熱中症になりやすいようです。発生時刻は午前11時台、午後2時から4時台に多発しています。近年は「暑さ指数（WBGT）」を参考として28℃以上となったら警戒が必要となっています。



熱中症は恐ろしい

熱中症になると異常に高い体温により脳障害を発症し、最悪の場合死亡することもあります。定期的に水分、塩分を取り、作業員の異常を早期に察知するよう心がけましょう。

一つだけ面白いデータがありますので紹介します。加齢に伴い様々な心身機能が低下しますが、一方で仕事に対するやりがい、満足度は大きくなるというデータが出ています。・・・高齢者ガンバレ！

(長崎県森林土木建設業協会)

センターだより

ヤブツバキの花はどのくらい結実するの？

はじめに

ヤブツバキ（以下、「ツバキ」という）は冬から春先の長い期間に花が咲きます。その後、受粉した花には7月に収穫時期と同じ大きさの実がなり、8月から9月ごろに実が熟し油が増えていきます。

ツバキ種子の生産には隔年結果と豊作期があることが明らかになってきました。しかし、開花した花がどのくらい結実するのかわかっていませんでした。

そこで、ツバキの時期別の開花数やその結実数を個体ごとに調査しました。

調査の内容・特徴

1. センター内のツバキ22本を対象に、令和2年11月末から令和3年9月末までの開花・結実について調査しました（表1）。
2. 開花期間は1カ月から4カ月と個体差があります。また、結実期間も個体差があり、結実が多い時期は2月から3月でした。

終わりに

今後、この調査地の2年目も継続調査し隔年結果を評価することで、ツバキ種子の豊凶対策の一助としていきます。



（農林技術開発センター）

表1 個体ごとの時期別の開花数とその結実数および種子総重量

個体番号	時期別の開花数（個・上段）															合計	結実率（%）	種子総重量（g）			
	11月			12月			1月			2月			3月						4月		
	下旬	中旬	上旬	下旬	中旬	上旬	下旬	中旬	上旬	下旬	中旬	上旬	下旬	中旬	上旬				下旬	中旬	上旬
1	3	4	3	14	11	17	35	9	17	20	40	18	6	-	-	-	197	21	348		
	(0)	(1)	(0)	(0)	(0)	(4)	(5)	(0)	(8)	(9)	(11)	(3)	(1)	-	-	-	(42)				
2	1	1	-	-	-	2	28	34	25	140	134	37	47	13	2	13	477	35	725		
	(1)	(0)	-	-	-	(1)	(9)	(14)	(8)	(55)	(40)	(6)	(7)	(4)	(1)	(0)	(166)				
3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	4	-	-	7	29	4		
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(1)	(0)	(1)	-	-	(2)				
4	-	-	-	-	-	-	-	-	3	11	11	5	-	-	-	-	30	33	118		
	-	-	-	-	-	-	-	-	(1)	(4)	(2)	(3)	-	-	-	-	(10)				
5	-	-	-	-	-	-	-	-	2	11	17	24	9	-	-	-	63	60	245		
	-	-	-	-	-	-	-	-	(2)	(6)	(12)	(13)	(5)	-	-	-	(38)				
6	35	19	7	16	8	20	17	13	15	15	9	6	5	-	-	-	185	24	266		
	(1)	(0)	(0)	(1)	(0)	(5)	(5)	(9)	(10)	(8)	(3)	(2)	(0)	-	-	-	(45)				
7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6	19	17	2	-	45	51	186		
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(1)	(1)	(11)	(10)	(0)	-	(23)				
8	-	1	-	1	-	-	4	9	4	2	6	2	1	1	-	-	31	19	17		
	-	(0)	-	(0)	-	-	(0)	(0)	(1)	(0)	(5)	(0)	(0)	(0)	-	-	(6)				
9	-	-	-	-	-	-	2	10	7	8	22	9	7	7	3	-	75	23	77		
	-	-	-	-	-	-	(0)	(3)	(5)	(2)	(4)	(1)	(0)	(2)	(0)	-	(17)				
10	-	-	-	-	1	2	6	5	8	7	16	3	7	-	-	-	55	35	69		
	-	-	-	-	(0)	(0)	(4)	(2)	(3)	(3)	(6)	(0)	(1)	-	-	-	(19)				
11	4	18	11	22	12	18	39	24	31	77	70	21	5	-	-	-	352	20	365		
	(0)	(0)	(0)	(2)	(4)	(6)	(8)	(5)	(7)	(12)	(21)	(4)	(1)	-	-	-	(70)				
12	-	-	-	3	2	3	16	22	31	22	47	22	26	4	-	1	199	43	647		
	-	-	-	(1)	(1)	(0)	(5)	(12)	(18)	(8)	(24)	(7)	(7)	(2)	-	(0)	(85)				
13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	14	52	47	10	2	129	12	86		
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(0)	(1)	(0)	(8)	(6)	(1)	(0)	(16)				
14	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	16	8	8	6	1	-	42	40	113		
	-	-	-	-	-	-	-	-	(1)	(0)	(6)	(3)	(6)	(1)	(0)	-	(17)				
15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	24	135	78	9	4	-	250	68	434		
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(16)	(90)	(59)	(4)	(0)	-	(169)				
16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	10	20	6	1	-	42	62	103		
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(3)	(8)	(13)	(2)	(0)	-	(26)				
17	-	-	-	-	-	-	-	-	2	3	12	19	8	-	-	-	44	55	107		
	-	-	-	-	-	-	-	-	(1)	(0)	(5)	(13)	(5)	-	-	-	(24)				
18	-	-	-	-	-	6	35	92	125	132	65	12	2	-	-	-	469	25	375		
	-	-	-	-	-	(0)	(3)	(29)	(37)	(32)	(13)	(2)	(0)	-	-	-	(116)				
19	-	-	-	-	-	-	14	209	463	306	159	91	7	1	-	-	1250	15	908		
	-	-	-	-	-	-	(5)	(50)	(59)	(35)	(22)	(16)	(3)	(0)	-	-	(190)				
20	-	-	-	-	-	-	9	53	96	72	24	5	1	-	-	-	260	45	627		
	-	-	-	-	-	-	(5)	(31)	(31)	(31)	(13)	(4)	(1)	-	-	-	(116)				
21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	35	56	12	6	-	116	28	165		
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(1)	(9)	(18)	(4)	(0)	-	(32)				
22	-	-	-	-	-	-	-	-	1	9	16	28	9	1	-	-	64	33	146		
	-	-	-	-	-	-	-	-	(0)	(3)	(3)	(11)	(4)	(0)	-	-	(21)				
平均																199±27	35±16	279±250			
±標準偏差																(57±58)					
合計	43	43	21	56	34	62	153	161	257	697	1095	682	643	359	49	27	4382	-	6131		
	(2)	(1)	(0)	(4)	(5)	(16)	(36)	(48)	(101)	(222)	(259)	(154)	(229)	(138)	(14)	(0)	(1250)				

ツバキの開花と結実には個体差があります。また、冬の花でも結実したものがあります。

ツバキの結実は2月から3月が多くなります。

紹介コーナー

趣味の竹細工 平松良信 (ひらまつ よしのぶ) さん



(左)菓子籠、三段重ねの籠はお弁当箱にも
(右)今夏新作の巾着籠

色鮮やかな文様がひと際目を引く「^{びんがた}紅型」と呼ばれる沖縄独特の染物を使って作られた巾着籠(写真右)。大村市福重地区で竹林を守り、同時に竹の魅力伝える活動に尽力されている「趣味の竹細工」平松良信さんの作品です。現在75歳の平松さんが自衛隊時代の先輩に誘われ竹細工を始めたのは8年程前。現在は、地域のコミュニティセンターで子どもたちの夏休み工作や、大人向けの竹細工講座などで講師を務めています。平松さんが作る竹細工は籠や玩具、節句物、コーヒー竹ドリッパーなど実に様々。そ

のアイディアは、週に一度のサウナと365日欠かさず続ける琴平岳999段の階段登りの時間に生まれるそう。竹籠も昔ながらの編み方を基本に新しい手法を取り入れ、作品にするのが楽しいと話します。その噂を耳にした新規のお客さんからも依頼が飛び込むようになりました。最近では、近所の子が平松さんのお手製竹ストラップを持ち歩いたのをきっかけに大人気となり、工房にも子どもたちが立ち寄るようになったそう。自分の作品を通じて、多くの人に竹の魅力を知ってもらい、竹に親しむ機会が増えるのと何より嬉しいと話されていました。



(左)コーヒー竹ドリッパー (中,右)節句物と竹の玩具

趣味の竹細工 平松 良信

連絡先：090-1368-0570

※お問合せはお電話にてお願い致します

伊万里木材市況

【ヒノキ】

令和4年7月現在

長さ	径級 cm	等級	高値 (円/㎡)	現在出荷量	現在引合	需要見通
4m	16～18	直	20,900	普通	普通	普通
	16～18	小曲り	17,300	普通	普通	普通
	20～22	直	22,000	普通	普通	普通
	20～22	小曲り	21,500	普通	普通	普通
	24～28	直・小曲り	21,000～ 19,000	少ない	普通	普通

【スギ】

令和4年7月現在

長さ	径級 cm	等級	高値 (円/㎡)	現在出荷量	現在引合	需要見通
4m	18～22	直	15,500	普通	多い	多い
	16～22	小曲り	13,500	普通	多い	多い
	24～28	直	15,500	普通	多い	多い
	24～28	小曲り	13,500	普通	多い	多い

※情報・お問い合わせは、伊万里木材市場 電話 0955-20-2183 まで

いさはや九電みらいの森（諫早市）



「いさはや九電みらいの森」イメージ図

九電みらいの森プロジェクト開始

公益財団法人九電みらい財団は、企業の森づくりの取組として「九電みらいの森プロジェクト」を開始しました。このプロジェクトは、環境教育や市民交流の拠点となる森づくりを目指して地域と協働で植林に取り組み、地域の皆さまと一緒にカーボンニュートラルに取り組んでいくことを目的にしています。現在は「くじゅう九電の森（大分県）」でも実施しており、環境教育や環境保全活動を、九州全域に拡大しています。このプロジェクトの一環として長崎県では、令和4年1月に諫早市大場町において、土地の所有者である諫早市と長崎県の3者で企業の森づくり協定を締結し、「いさはや九電みらいの森」と名付け、森林の整備と森林環境教育を10年間実施します。

植樹祭を開催

協定の締結後、地^{じごしら}拵えを終えた大場町の原野は遊歩道等が整備され、5月11日に、地元の小学生を交えた植樹式と、木製の協定書の贈呈式を行いました。

式では、公益財団法人九電みらい財団^{つじしん}辻慎一^{おおくぼ きよしげ}代表理事、大久保潔重諫早市長の出席をい

ただき、長崎県農林部長から木製の協定書が贈呈されました。

植樹式では、関係者や地元の方々、諫早市立^{ながた}長田小学校5年生の代表によるシンボルツリーとして、ヒゼンマユミ（諫早市木）6本の記念植樹と、14種類の広葉樹200本の植樹を行いました。参加した小学生の32名は、同財団から地球温暖化や森の役割に関する講話を受けました。



諫早市立長田小学校5年生による植樹

九電みらい財団は、「九州の未来をずっと先まで明るくしたい。」という思いから、豊かな自然を守り続け、子どもたちが輝く未来につなげていくことを願い、九州各所で森林づくりを行っています。「いさはや九電みらいの森」では5月28日にも“自然広葉樹の森”エリアで市民と九電グループによる7種類の広葉樹1,200本の植樹を行いました。今年度は秋にも植樹を行う予定です。

（長崎県森林ボランティア支援センター）

長崎の林業 8月号 第803号
編集・発行 長崎県林政課
住所：長崎県長崎市尾上町3番1号
電話：095-895-2988
ファクシミリ：095-895-2596
メールアドレス：
s07090@pref.nagasaki.lg.jp